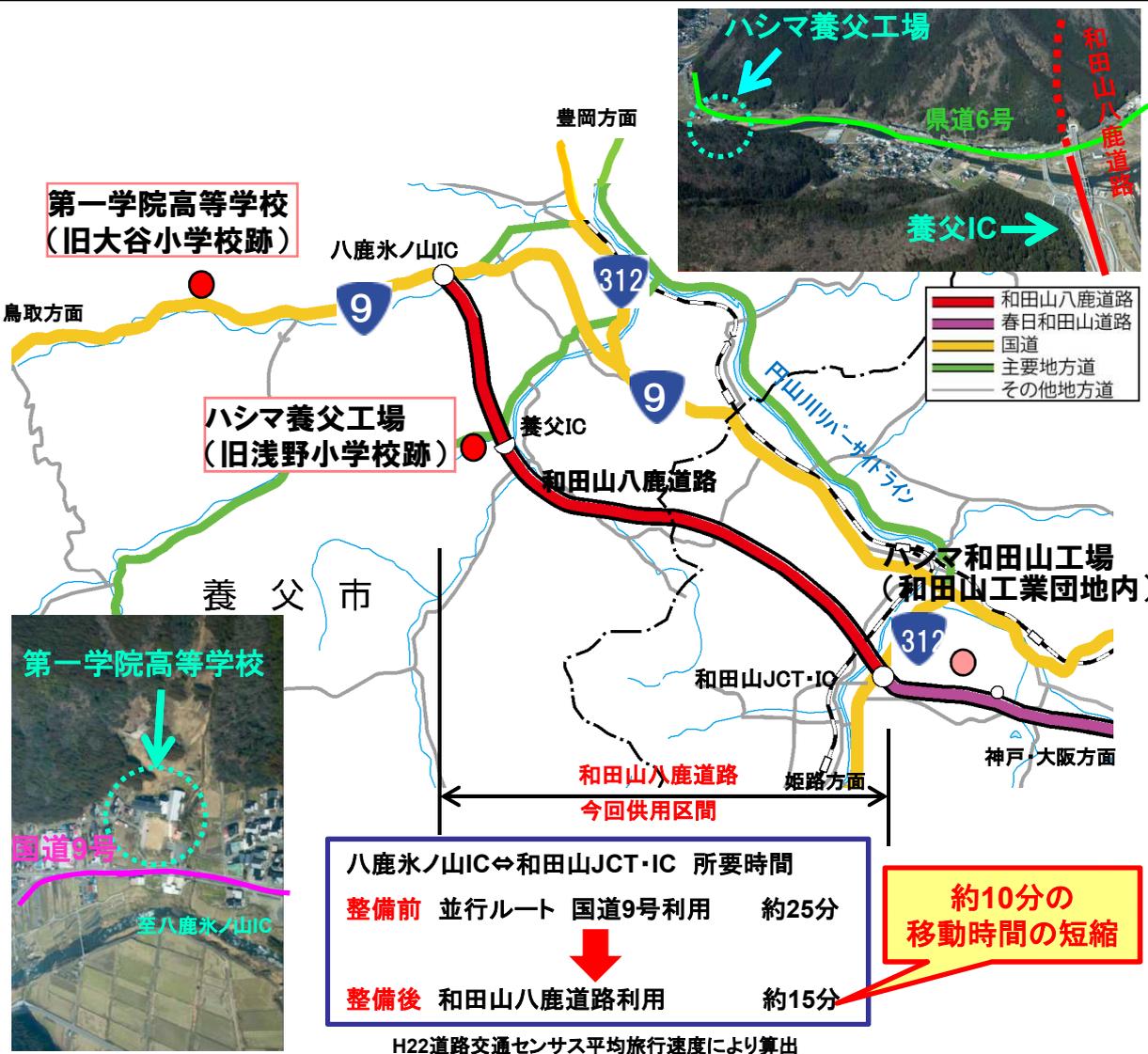


# 道路整備に伴い周辺の廃校跡地に企業進出

- ・和田山八鹿道路の開通が、企業の進出及び事業規模拡大に貢献
- ・廃校となっていた校舎を使用した跡地利用は地域の活性化に寄与

## 位置図



- 和田山工場の事業拡大のために和田山八鹿道路の養父ICに近い、この地で第2工場の操業を選択しました。
- 養父工場では製造の前半の工程を行い、毎日、和田山工場や大阪方面の取引先へ製品を運搬するために北近畿豊岡自動車道の利用は欠かせません。
- 社員の通勤利用等で、利便性が向上したと実感しています。(ハシマ養父工場 工場長)



■(株)ハシマ 養父工場  
 関東・中部方面の自動車メーカーへ板バネ、トメワ等の自動車部品を製造・提供。  
 平成24年10月に和田山工場の第2工場として旧浅野小学校跡地にて操業開始。

- 生徒は年に1回、本校に2泊3日でスクーリングのために来校しますが、西日本各地のキャンパスからスムーズに本校にアクセスできることが、本校の立地選定において、重要な要素であり、和田山八鹿道路の供用も見込んで開校しました。
- 直接バスで、地域によっては新幹線・飛行機からバスで来校する約1,600名(H25年6月末)の在校生の移動時間の短縮は生徒の負担軽減に繋がっています。(第一学院高等学校 理事)



■第一学院高等学校 養父校  
 全国に31キャンパスをもつ通信制高校。  
 平成20年4月に西日本にあるキャンパスのスクーリング(面接指導)を受け持つ本校として旧大谷小学校跡地にて開校。